

22nd
Regional
Vitalization
Forum

岡崎大学懇話会 が取り組む 地域の課題解決 2022!

参加
無料

どなたもお気軽に
ご参加ください

岡崎市内大学の研究者が
地域活性化についての研究成果を発表します

第22回 地域活性化フォーラム

2023年 3月11日(土) 13:30 ~ 15:50

会場 愛知学泉大学・愛知学泉短期大学
1号館 大会議室

- 岡崎市における地域個性を訴求するブランディング —現状と課題—
愛知産業大学 今枝 千樹 准教授 / 京都大学 藤井 秀樹 名誉教授
- 留学生の視点による岡崎市観光協会業務用テントデザインの検証
愛知産業大学 木村 光 教授
- 岡崎市と全国の対人援助職のメンタルヘルス —心理・看護・教育・保育の職種に注目して—
人間環境大学 今井田 貴裕 講師
- 額田町の森林を活用した屋外遊びの有効性
岡崎女子短期大学 山下 晋 教授
- 一人ひとりの“死”を集めて
—おかざきまちづくり民俗誌の事始め—
愛知学泉短期大学 古橋 敬一 講師



岡崎大学懇話会 HP

■連絡先

〒444-8520 岡崎市舳越町上川成 28
岡崎大学懇話会事務局
(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 総務課)
TEL 0564-34-1212 E-mail soumu@gakusen.ac.jp
HP <https://okazaki-dk.com/>

プログラム

13:45～14:05

愛知産業大学 今枝 千樹 准教授 (専門:財務会計論)
京都大学 藤井 秀樹 名誉教授 (専門:財務会計論)

岡崎市における地域個性を訴求するブランディング —現状と課題—

地域個性をもつ質の高い品を作り上げても、その価値が必ずしも消費者に認知されるとは限りません。地場産業を地域振興につなげるためには、地場資源の経済価値を発見し、あるいは生み出し(付加価値をつけて)、それを全国的に(世界的に)訴求する人材の育成やブランディングが必要となるでしょう。本研究では、岡崎市における地域個性を訴求するブランディングの現状と課題について考察したいと思います。

14:10～14:30

愛知産業大学 木村 光 教授 (専門:インダストリアルデザイン、立体造形)



留学生の視点による岡崎市観光協会業務用テントデザインの検証

一般社団法人岡崎市観光協会と連携協力に関する包括協定を締結し、地域の課題に適切に対応し、活力のある地域社会の形成と発展に寄与する目的で、観光協会が使用するテントのプロダクトグラフィックデザインを行ないました。学内コンペ形式としながら、大学院留学生5名が参加し、留学生の眼から見た岡崎市を表現しました。汎用性の面から白地テントの出店が多い中で、岡崎公園の藤棚、徳川四天王と兜、オカザえもん等をキーワードとした全面がカラフルなものを採用しました。その後、実際の使用開始後における感想・意見のまとめを行いました。

14:35～14:55

人間環境大学 今井田 貴裕 講師 (専門:臨床心理学)



岡崎市と全国の対人援助職のメンタルヘルス —心理・看護・教育・保育の職種に注目して—

心理士や看護師、教師、保育士は、地域で暮らす人々のメンタルヘルスを支える職種であり、地域の活性化に不可欠な専門家です。近年はコロナ渦や未曾有の景気の悪化によって、こうした専門家の需要が高じています。それゆえに、専門家の負担が高まってきており、専門家自身のメンタルヘルスが危ぶまれています。本研究では、Web調査を用いて心理士や看護師、教師、保育士といった職種のメンタルヘルスを検討します。

14:55～15:05

休憩

15:05～15:25

岡崎女子短期大学 山下 晋 教授 (専門:スポーツ健康科学)



額田町の森林を活用した屋外遊びの有効性

本学では、子どもにとって居心地が良く、安心・安全、夢中になる空間を創造できる保育者の養成を目指して「子ども好適空間演習(演習科目)」を創設しました。今年度は屋外における子ども好適空間を実践的に学ぶために、額田町「絆の森」で自然物を使った工作や、森の中にネットやロープを用いたアスレチックの環境を構成し、子どもたちと一緒に屋外遊びを楽しみました。今回はアンケート結果などから、森林を活用した屋外遊びの有効性について報告します。

15:30～15:50

愛知学泉短期大学 古橋 敬一 講師 (専門:まちづくり、コミュニティマネジメント、コミュニティーカイフ)



一人ひとりの"死"を集めて —おかざきまちづくり民俗誌の事始め—

まちづくりへのアクションリーチとして、「聞き書き」によるフィールドワークを実施している。事始めのテーマは終末ケアにたずさわる人々の仕事である。人口減少社会が進行する中で、人の死を医療機関に任せきりにする時代は終わりつつある。私たちは、もっと死を身近にとらえながら、一人ひとりの生き方やコミュニティの在り方を再考していく必要があるのではないか。すぐ傍にあり、誰も逃れられない死について、人々の語りを集めてみた。

【会場・アクセス】

愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 愛知県岡崎市触越町上川成 28

●名鉄名古屋本線「東岡崎」駅南口ロータリーよりスクールバス

●名鉄名古屋本線「矢作橋」駅より徒歩

愛知環状鉄道「北岡崎」駅より徒歩

●駐車場あり

●スクールバスダイヤは

愛知学泉大学 <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/access.html>

をご参照ください。

岡崎大学懇話会とは

岡崎大学懇話会とは、岡崎市内の大学(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学、人間環境大学、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学)で構成する組織です。

それぞれの大学の学問的特性を活かして、地域と地域産業の活性化を推進することを目的に活動をしています。